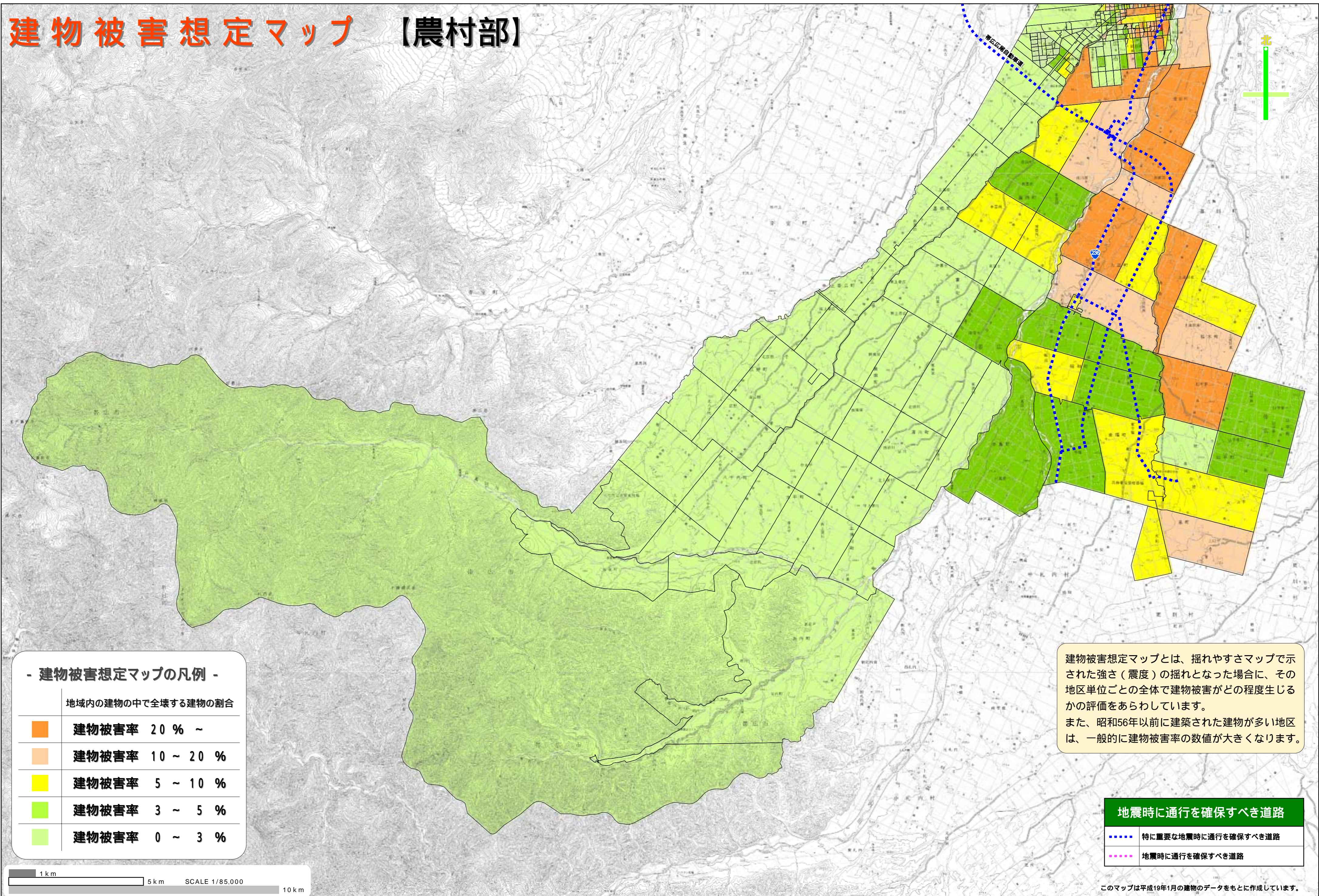


建物被害想定マップ【農村部】



- 建物被害想定マップの凡例 -

地域内の建物の中で全壊する建物の割合

	建物被害率 20 % ~
	建物被害率 10 ~ 20 %
	建物被害率 5 ~ 10 %
	建物被害率 3 ~ 5 %
	建物被害率 0 ~ 3 %

建物被害想定マップとは、揺れやすさマップで示された強さ（震度）の揺れとなった場合に、その地区単位ごとの全体で建物被害がどの程度生じるかの評価をあらわしています。
また、昭和56年以前に建築された建物が多い地区は、一般的に建物被害率の数値が大きくなります。

地震時に通行を確保すべき道路

	特に重要な地震時に通行を確保すべき道路
	地震時に通行を確保すべき道路

このマップは平成19年1月の建物のデータをもとに作成しています。